

平成26年度
事業報告書

社会福祉
法人

和歌山市社会福祉協議会

平成26年度 事業報告書

少子高齢化の進展と人口減少、地縁関係・血縁関係の希薄化によるコミュニティ機能の減退、不安定な経済情勢や雇用環境などにより、人々の暮らしを支える社会基盤は大きく変化しています。また、高度経済成長や人口増加を前提とした現在の社会保障制度は、経済成長の鈍化や人口減少など社会構造の変化により、維持することが極めて難しくなり、特に高齢化問題にあたっては、医療と介護の一体的改革による地域包括ケアシステム構築を目指す方向性が明確になっています。

和歌山市社会福祉協議会においては、そのような状況をふまえ、生じている市民福祉の諸課題に対応するため、第2次「地域福祉活動計画」を継続的に推進し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり、すなわち、つながり支え合う「地域福祉」の実現に向けて積極的に取り組みました。

また、第2次「地域福祉活動計画」策定から5年目を迎え、地域社会の変化に伴う新たな課題に対応した「地域福祉活動計画」を策定するための見直しを行いました。

事業の実施状況については、次のとおりです。

1. 法人の運営等

(1) 役員会等の開催

法人運営に係る事項を検討するため、次のとおり理事会、評議員会等を開催した。

①理事会の開催（3回）

- | | |
|----------------|--|
| 平成26年 5月26日（月） | ①平成25年度事業報告について
②平成25年度一般会計収支決算について
※監事監査報告
③評議員の選任について
④理事候補者推薦について |
| 平成26年 9月30日（火） | ①副会長の選任について
②顧問の委嘱について |
| 平成27年 3月23日（月） | ①平成26年度3月補正資金収支予算について
②平成27年度事業計画について |

- ③平成27年度資金収支予算について
- ④平成27年度業務の請負契約に関する事項

②評議員会の開催（2回）

平成26年5月26日（月）

- ①平成25年度事業報告について
- ②平成25年度一般会計収支決算について
- ※監事監査報告

平成27年3月23日（月）

- ③理事の選任について
- ①平成26年度3月補正資金収支予算について
- ②平成27年度事業計画について
- ③平成27年度資金収支予算について

③監事会（決算監査）の開催

平成26年5月7日（水）

平成25年度事業及び一般会計収支決算について、監事による監査を受け、その結果いずれも適正に処理されていることの承認を得た。

④正・副会長会議の開催（2回）

平成26年5月9日（金）

- ①平成26年5月26日開催の、理事会・評議員会提出議案について協議

平成27年3月11日（水）

- ①平成27年3月23日開催の、理事会・評議員会提出議案について協議

⑤第3次地域福祉活動計画検討会の開催（5回）

平成26年5月26日（月）

- ①第3次地域福祉活動計画について

平成26年9月30日（火）

- ①第3次地域福祉活動計画（第1章 計画の概要）について

平成26年12月22日（月）

- ①第3次地域福祉活動計画（第2章 地域福祉の状況）について

平成27年2月23日（月）

- ①第3次地域福祉活動計画（第3章 課題と今後の取り組み）について

平成27年3月23日（月）

- ①第3次地域福祉活動計画（第4章 地区別計画及びアンケート調査の結果）について

(2) 関係機関等との連携活動の実施

社会福祉協議会活動の実施にあたり、地区社会福祉協議会、自治会、民生委員・児童委員協議会をはじめ各種の福祉関係団体や社会福祉施設等と常に情報交換を行い、連携活動を図った。

(3) 社会福祉協議会会員の募集

社会福祉協議会の活動趣旨に賛同して協力・支援をいただく会員を、地区社会福祉協議会をはじめ各種福祉団体や福祉施設等の協力を得て募集した。

①一般会員

会費総額 7,422,581円（1口200円×37,111口）

（P. 22参照）

②施設団体会員 会費総額 636,000円(1口3,000円×212口)

③特別会員 会費総額 110,000円(1口10,000円×11口)

(4) 福祉に関する調査の実施

①在宅寝たきり高齢者実態調査

民生委員・児童委員の協力を得て、市内の65歳以上で在宅寝たきりの状態(3ヶ月以上)になっている高齢者を調査した。

調査日：平成26年7月1日

寝たきり高齢者数：336人

②先進都市社会福祉協議会活動調査

他都市の社会福祉協議会の活動状況を調査し参考とするため、平成26年11月25日、社会福祉法人 高島市社会福祉協議会を役員及び事務局で視察し、たかしま回想法センターの取り組みについて調査及び研修を行った。

(5) 広報紙「わかやまし社協」の発行

社会福祉協議会活動の広報、情報提供、福祉意識の高揚を図ることを目的に、年3回(7月・10月・2月)発行した。

平成26年7月1日発行：「わかやまし社協」第75号(全戸配布)

平成26年10月1日発行：「わかやまし社協」第76号(回覧)

平成27年2月1日発行：「わかやまし社協」第77号(回覧)

(6) 社会福祉大会の開催並びに各種表彰の実施

①平成26年度和歌山市社会福祉大会、社会福祉功労者等の表彰

平成26年11月11日(火)、和歌山市民会館小ホールにおいて和歌山市との共催により、市内の福祉関係者約500人の参加を得て盛大に開催した。

式典の部では、社会福祉事業に功労のあった、地区社会福祉功労者19人・5団体、社会福祉団体功労者5人を会長表彰し、社会福祉施設協力者4人・1団体に対し感謝状を贈呈した。

記念講演の部では、講師に女優・ヘルスケアカウンセラーの石井苗子さんを招いて、「人のつながり、ふるさとしてすばらしい」と題して講演を行った。

②民生委員・児童委員功労者表彰

平成26年5月23日(金)、平成26年度和歌山市民生委員・児童委員大会開催に際し、民生委員・児童委員として通算7年以上在職し社会福祉に功労のあった方々9人に対し会長表彰を行った。

③模範老人表彰

平成26年9月2日(火)、平成26年度和歌山市高齢者保健福祉振興大会開催に際し、模範老人として地域で親しまれ
尊ばれている70歳以上の高齢者34人に対し会長表彰を行った。

④和歌山県社会福祉功労者表彰

平成26年10月15日(水)、県民交流プラザビッグ愛で開催された平成26年度和歌山県社会福祉功労者表彰式の席
上において、本会から推薦した社会福祉団体職員功労者1人が和歌山県知事から感謝状を受けた。また、社会福祉協議会職
員功労者1人が和歌山県社会福祉協議会会長から表彰を受けた。

(7) 人権啓発活動への協力

平成26年10月1日発行の「わかやまし社協」第76号において、「人権を守れば見える明るい未来」を標語に人権啓発
推進を広報した。

(8) 各種団体事務局の行政からの受託事務の実施

和歌山市民生委員・児童委員協議会、和歌山市老人クラブ連合会、和歌山市共同募金委員会、日本赤十字社和歌山県支部和
歌山市地区、和歌山市遺族連合会、和歌山市戦災遺族会事務局業務を受託し、目的達成に必要な支援を行うとともに、団体と
連携して地域福祉の向上や福祉課題の解決に取り組んだ。

(9) 事務局組織の充実に向けた職員研修の参加・促進

事務局組織の充実を図るため、組織単位で情報交換を行うとともに、職員に対し研修等の参加促進し、職員の育成に努めた。

2. 第2次地域福祉活動計画の推進及び一部見直し

計画推進のための取り組みを、次のとおり実施した。(ただし、詳細は各事業に掲載)

(1) 地域福祉活動計画に沿った取り組みの実施及び点検

(2) 重点施策の実践

①地区社会福祉協議会の活動強化

- ・地区社会福祉協議会の活性化の推進
- ・地区社会福祉協議会ブロック活動強化の推進(地区社会福祉協議会ブロック会議の開催)
- ・地区社会福祉協議会の支援体制の整備

②地域福祉活動への住民の理解や参加の促進

- ・先駆的福祉活動の掘り起こし及び住民への周知

③地域福祉活動を推進する担い手の確保

- ・地域ボランティアの確保

- ・地域で活動するボランティアリーダーの養成
- ・地域で活動するボランティアの支援

(3) 地域福祉活動計画の一部見直し

- ①現行計画推進状況の検証
- ②計画見直しのための検討理事会の開催
- ③地域福祉活動実態調査の実施
- ④計画書の作成

3. 善意銀行の運営

本年度も多くの市民の暖かい善意により、23件・1,110,808円の寄附金が寄せられ、高齢者・障がい者・児童福祉関係の事業等に配分した。

また、本会の広報紙7月号、10月号、2月号において、善意銀行をPRし、寄附協力の啓発を行うとともに寄附者名を掲載した。

4. 高齢者、障がい者（児）、児童・母子福祉の推進

(1) 高齢者福祉の推進

①長寿者及び高齢者福祉施設入所者に対する敬老訪問並びに激励

平成26年9月の敬老月間に伴い、市内の100歳の長寿者（73人）に長寿祝品を贈呈した。また、市内の高齢者福祉施設（29箇所）に、敬老祝品として梅干を贈呈した。

なお、9月5日には、市長、市社会福祉協議会会長、市民生委員・児童委員協議会会長が長寿者の代表者宅を激励訪問した。

②在宅寝たきり高齢者のお見舞い訪問

市内の65歳以上の在宅寝たきり高齢者336人に、各地区民生委員・児童委員並びに社会福祉関係者の協力を得て見舞品を贈呈した。

③老人クラブ活動への協力支援

和歌山市老人クラブ連合会に対して、会の運営と活動の支援を行った。

(2) 障がい者（児）福祉の推進

①障がい者（児）団体への協力支援

各種障がい者団体・施設等に対して、会の運営と活動の支援を行った。

②障がい児福祉増進事業

和歌山市並びに和歌山市障害児者父母の会主催による「第30回和歌山市障害児親子のつどい」が、平成26年5月15・16日お伊勢まいりと鳥羽への旅として開催され、その事業に側面から協力した。また、つどいには障がい児とその親総勢221人が参加し、相互の親睦と交流を深めるとともに、療育相談や意見交換等も行われ、障がい児福祉の増進が図られた。

③障がい児相談事業

毎月第3金曜日、和歌山市あいあいセンターにおいて相談所を開設し相談活動を実施した。

また、平成27年3月12日（木）、社会福祉法人つわぶき会 つわぶき相談支援事業所 主任相談支援員 熊井利将氏を招き、障がい児相談員研修会を開催し、障がい児に対する適切な情報の提供と助言が行えるよう、研鑽を図った。

(3) 児童・母子福祉の推進

①施設入所児童等の激励事業の実施

平成26年4月24日 児童福祉週間（5月5日～11日）に伴い、児童養護施設を中心に児童福祉関係施設5箇所を激励訪問した。

平成27年3月3日 児童養護施設に入所する「小・中学校入学並びに中学校卒業」児童・生徒を激励訪問し、小学校に入学する児童8人、中学校に入学する児童20人、中学校を卒業する生徒10人に対し激励の記念品を贈呈した。

②児童・母子福祉活動等への協力支援

保育協議会活動、親子活動、母子寡婦福祉活動への協力支援を実施した。

5. 地域福祉活動の推進

(1) 地区社会福祉協議会の育成と活動の支援

①地区社会福祉協議会会長会議の開催

平成26年6月2日（月） ・平成25年度事業報告について
・平成26年度事業計画について
・その他

平成26年9月8日（月） ・平成26年度地区社会福祉協議会会長研修会について
・平成26年度ブロック会長会議について
・その他

②地区社会福祉協議会会長研修の実施

平成27年1月26日(月)和歌山市介護保険課から講師を招き、「介護保険制度改正等について」と題し、平成27年度からの介護保険制度について研鑽した。

③地区社会福祉協議会活動の支援

市内42地区の社会福祉協議会の活動に対し、支援を行った。

④地区社会福祉協議会ブロック活動の推進

市内10個所でブロック会議を開催し、各地区で取り組んでいる活動についての情報交換や、意見交換を行った。

平成26年10月10日(金)第9ブロック会議 あいあいセンター

平成26年10月15日(水)第4ブロック会議 和佐支所

平成26年10月16日(木)第8ブロック会議 砂山連絡所

平成26年11月4日(火)第3ブロック会議 紀伊支所

平成26年11月12日(水)第6ブロック会議 ふれ愛センター

平成26年11月12日(水)第2ブロック会議 河北コミュニティセンター

平成26年11月19日(水)第7ブロック会議 和歌浦支所

平成26年11月20日(木)第10ブロック会議 芦原文化会館

平成26年11月25日(火)第1ブロック会議 西脇支所

平成26年11月27日(木)第5ブロック会議 三田連絡所

(2) 地域福祉活動推進事業の実施

①ふれあい・いきいきサロンの実施

高齢者や障がい者、就学前の子育て中の親子を対象に、当事者間の交流の場づくり、自立生活の助長や社会的孤独感の解消等を目的に8地区(松江・加太・楠見・有功・紀伊・西和佐・西山東・中之島)で実施した。

②地域福祉活動の掘り起し及び周知

地区社会福祉協議会に対し、地域福祉活動の情報提供及び研修会を行った。

③地域福祉活動の人材発掘

各地区事業や登録ボランティアへのPR活動、地域ボランティアコーディネーターとの研修交流会を行った。

(3) ふれあいのまちづくり事業の実施

①総合相談事業

多様化する相談に対応するために総合相談事業を実施した。

・心配ごと相談

(P. 23参照)

毎週 月曜日・水曜日・金曜日（相談員：民生委員・児童委員、専門相談員） 相談件数 141件
心配ごと相談員研修会開催 平成27年2月9日（月）

・法律相談

毎月 第1金曜日（相談員：弁護士） 相談件数 41件

②小地域ネットワークづくり事業

・ふれあい食事サービス（会食型・配食型）の実施 (P. 24参照)

65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に、孤独感の解消、安否確認、ニーズ発見等を目的として、食事サービスを実施した。

・地域見守り活動の推進

各種事業の開催など、各地区へ必要な支援を行った。

③ふれあい福祉事業

・ふれあい在宅ケアの集い開催

介護に対して関心のある方を対象に、介護福祉士である寺井政子氏を講師に招き、「介護と予防について学ぼう」をテーマに、誰もが分かりやすく役立つ介護予防講習を3地区で実施した。

平成26年9月25日（木） 雑賀崎支所（雑賀崎地区）

平成26年10月6日（月） 砂山連絡所（砂山地区）

平成26年10月28日（火） 有功自治会館（有功地区）

・ふれあい広場の開催

地域に住む高齢者、子ども、若年層等のさまざまな人達がイベントを通じて知り合い、語り合い交流して地域社会への理解と関心を深めて、誰もが住みやすい、心のふれあいのあるまちづくりに役立てることを目的に14地区で実施した。

平成26年4月12日（土） 花見交流会（西和佐地区）

平成26年5月25日（日） 三世代交流ハイキング（加太地区）

平成26年7月7日（月） 三世代交流七夕まつり（新南地区）

平成26年7月19日（土） 城北地区ふれあい広場（城北地区）

平成26年9月13日（土） 三つわ祭り（三田地区）

平成26年9月15日（月） 和歌浦地区敬老・演芸会（和歌浦地区）

平成26年10月19日（日） 有功ふれあいまつり（有功地区）

平成26年10月19日（日） “みんなが主役” 演芸祭り（直川地区）

平成26年10月26日（日） 敬老福祉大会（四箇郷地区）

平成26年11月3日(月) 今福ふれあい広場 愛徳祭(今福地区)

平成26年11月8日(土) 西脇地区ふれあい祭り(西脇地区)

平成26年11月8日(土) 本町地区ふれあい広場(本町地区)

平成26年11月9日(日) 楠見地区文化のまつり(楠見地区)

平成26年11月9日(日) 小倉地区文化まつり(小倉地区)

・高齢者料理教室の開催

65歳以上の高齢者を対象に、栄養士である永田明代氏を講師に招き、簡単につくれ・食べやすいメニューの調理実習を行い、毎日の食事づくりの参考にしていただくことを目的に3地区で実施した。

平成27年2月7日(土) 宮小学校(宮地区)

平成27年3月15日(日) 加太総合交流会館(加太地区)

平成27年3月16日(月) 北コミュニティセンター(直川地区)

(4) ボランティア活動の推進

① ボランティアセンター事業の推進

・相談、情報提供、登録、斡旋

ボランティア活動の拠点としてボランティアセンターを設置するとともに、ボランティアに関する相談や情報の提供、登録、斡旋を行った。

・ボランティア保険の加入促進

ボランティアが安心して活動できるようにボランティア保険加入の促進を行った。

・その他の活動

・ボランティア同士のネットワークづくりの充実及び活動を実践するボランティア団体等の育成を目的に、和歌山市ボランティア連絡協議会への支援を行った。

・ボランティア基金(100,000,000円)の運用管理を行った。

② ボランティアの育成

・夏のボランティア体験学習の開催

誰もが参加できるボランティア活動のきっかけづくりを目的に、「2014夏のボランティア体験学習」を平成26年8月23日(土)近畿運輸支局において開催し、親子合わせて31人の参加者が学び、体験メニューでは、ボランティア活動の理解を一層深めるため「車イス体験」・「交通バリアフリー体験(高齢者疑似体験)」や「工作体験」を講師の指導を受けながら体験した。

・地区社会福祉協議会と地域ボランティアコーディネーター養成講座修了者の研修交流会の開催

平成26年8月4日（月）介護福祉士・レクリエーションインストラクターの寺井政子氏を講師に迎え、「レクリエーションで地域づくり」をテーマにした講演及び和歌山市介護保険課による「介護保険制度の改正」の説明があり、その後、8圏域に分かれ包括支援センターと意見交換を行った。

・ボランティア登録者の研修交流会の開催

和歌山市社会福祉協議会のボランティア登録者の交流を図り、ボランティアの輪を広げていくことを目的に、平成26年11月30日（日）あいあいセンター福祉交流館にてボランティア登録者研修交流会を開催した。

また、ボランティア登録者交流活動として、平成27年2月9日（月）和歌山市汀公園内にて和歌山市戦災遺族会の協力のもとクリーン作戦（清掃活動）を行った。

③福祉教育の推進

・福祉教育推進モデル校の指定及び活動支援

共生社会の実現に向けての福祉教育の推進を目的に、平成26年度福祉教育推進モデル校として、和歌山市立吹上小学校を指定し、活動支援を行った。また、平成26年11月27日（木）同小学校体育館において、保護者・学校・地区の関係者等409人の参加のもと、指定校からの実践報告会が行われた。3年生から6年生の児童、またJRC環境委員会による取組みが報告された。

・福祉教育体験教室の開催

福祉教育を推進するための一つの方法として「体験」を通じて理解を深めていただくために、障がいを持つ当事者の声を聞くことで、他人を思いやる心や優しさ、相手の立場になって考えたり、共感することのできる温かい心を育んでもらい、全ての人々が安心して共に生きることのできるまちづくりのきっかけとなることを目的とし、和歌山市内の小学校5校で福祉体験教室を開催した。

平成26年9月11日（火）	和歌山市立山東小学校 テーマ「視覚障がいの理解」視覚障がい者講話とアイマスク・点字体験
平成26年10月14日（火）	和歌山市立宮小学校 テーマ「聴覚障がいの理解」聴覚障がい者講話と手話体験
平成26年11月14日（金）	和歌山市立鳴滝小学校 テーマ「視覚障がいの理解」視覚障がい者講話とアイマスク・点字体験
平成26年11月18日（火）	和歌山市立雑賀崎小学校 テーマ「視覚障がいの理解」視覚障がい者講話とアイマスク・点字体験
平成26年12月5日（金）	和歌山市立西脇中学校 テーマ「肢体障がいの理解」車イス体験やアイマスク・高齢者疑似体験

④災害ボランティアセンターの体制づくり

・災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

平成26年11月8日(土)さんさん公園多目的広場・和歌山市北コミュニティセンターにおいて、和歌山県北部を震源域とする大規模な地震(震度7)が発生し、和歌山市において甚大な被害があったと想定し、地区社会福祉協議会第3ブロックの関係者、和歌山市ボランティア連絡協議会、日本赤十字社和歌山県支部、地域ボランティアコーディネーター、ボランティア登録者、地域住民197名が運営スタッフ役とボランティア役に分かれ、今後、起こるとされている南海・東南海地震に備え模擬訓練を実施した。また、ボランティア活動支援体制の充実を図るため、資機材の整備や災害時におけるボランティア登録の充実を図った。

(5) 共同募金運動への協力支援

①共同募金運動

平成26年10月1日～12月31日の運動期間において、各地区の連合自治会、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会等福祉関係団体を始め、学校、職域等多数の市民の協力により募金活動に取り組んでいただいた結果、本年度目標額44,958,000円に対し、実績額31,125,250円(達成率69.23%)の募金が集められた。また、前年度募金実績に対して、和歌山県共同募金会配分委員会において配分額が決定され、当協議会へ9,736,070円の配分があり、地域福祉推進のための事業に配分を行った。

②歳末たすけあい運動

平成26年12月1日から31日までの間に市内8地区で実施され、総額3,533,584円の募金を各地区の社会福祉協議会、連合自治会、民生委員・児童委員等から、社会福祉施設や地域福祉事業等に配分された。

6. 生活福祉資金貸付事業の実施

・生活困窮になっている低所得者、障がい者及び高齢者世帯を対象に相談と必要最小限の貸付を実施した。貸付対象外の方については関係機関を紹介するとともに、住居喪失者に対し生活支援課と合同面談や就労に向け指導を行い、268件の貸付相談と21件の貸付を行った。

・専門相談員を2名配置し、民生委員の協力のもと借受世帯への相談支援や和歌山県社会福祉協議会との連携による長期滞納者世帯の現況調査、滞納世帯への督促を行った。また、個別の問題については償還指導だけではなく自立への助言を行い支援し、586件の訪問を行った。

(P. 25参照)

7. 福祉サービス利用援助事業

(1) 福祉サービス利用援助事業実施状況

判断能力が不十分な高齢者や知的障がい・精神障がいのある方など日常生活を営むのに支障がある方との契約に基づき、福祉サービス利用に関する相談に応じ、助言を行い、福祉サービスの利用を受けるために必要な手続及び適切な利用に関する一連の援助を一体的に行った。

利用状況

対象者	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
利用者数	46	17	22	2	87
新規契約者数	16	3	4	1	24
契約解約者数	9	1	3	1	14

相談件数

対象者	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	43	5	9	1	58

相談内容別件数

内容	サービス利用手続	手続援助	金銭管理	書類等預かり	生活設計	事業問合せ	合計
件数	55	53	58	55	4	13	238

(2) 専門員・生活支援員の育成、研修

専門員、生活支援員に専門知識習得のための研修会等への参加及び本事業の啓発活動を実施した。

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| ① 平成26年 6月 9日 | 第20回和歌山市自立支援協議会定例会 |
| ② 平成26年 7月 1日 | 平成26年度福祉サービス利用援助事業新任生活支援員研修会 |
| ③ 平成26年 7月10日 | 第31回自立支援協議会 地域生活支援部会 |
| ④ 平成26年 7月30日 | 平成26年度第1回福祉サービス利用援助事業専門員研修会 |
| ⑤ 平成26年 8月28日、 9月3・ 9日 | 平成26年度社会貢献型後見人養成講座 基礎編 |
| ⑥ 平成26年 9月30日、 10月7・ 14日 | 平成26年度社会貢献型後見人養成講座 実務編 |
| ⑦ 平成26年 9月11日 | 第32回自立支援協議会 地域生活支援部会 |
| ⑧ 平成26年12月10日 | 平成26年度家事関係機関との連絡協議会 |
| ⑨ 平成27年 1月 8日 | 第34回自立支援協議会 地域生活支援部会 |
| ⑩ 平成27年 1月14日 | 平成26年度福祉サービス利用援助事業紀北ブロック専門員研修会 |

- ⑪ 平成27年 3月12日
- ⑫ 平成27年 3月13日
- ⑬ 平成27年 3月18日
- ⑭ 平成27年 3月20日

- 第35回自立支援協議会 地域生活支援部会
- 平成26年度成年後見制度市町村等担当者説明会
- 平成26年度法人後見レベルアップ研修会
- 平成26年度福祉サービス利用援助事業専門員・支援員研修会

8. 在宅福祉サービスの推進

(1) ふれあいサービス事業（住民参加型在宅福祉サービス）の実施

ふれあいサービス事業は、サービスを利用する人とサービスを行う人とお互いに会員になり、年齢や公的サービス利用の有無にかかわらず、「困ったときはお互いさま」の気持ちで在宅において主に家事援助を行う社協独自の福祉サービスです。次のとおり実施した。

①提供会員・利用会員相互の助け合い活動の実施

登録者数 提供会員35人 利用会員64人 計99人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供人数	17	16	19	18	19	19	19	18	14	15	16	16	206
利用人数	32	29	32	26	31	28	32	25	25	21	24	25	330
活動延べ件数	142	131	167	137	132	149	175	124	142	105	141	148	1,693
活動利用時間数	226	202	276	251	213	255	296	203	235	171	232	243	2,803

②提供会員研修会の開催

平成26年11月13日（木）料理講習会

大阪ガスクッキングスクール和歌山

平成26年12月8日（月）手作り講習会（利用会員へのプレゼント「クリスマス用飾り」）

布のハーモニー

平成27年2月23日（月）“「悪徳商法」手口を知って被害を防ごう”をテーマに講演会を開催。

③提供会員・利用会員相互のふれあい交流会の開催（兼提供会員研修会）

平成26年6月12日（木）、語り部さんの案内により和歌山城公園を散策。その後、徳川吉宗ゆかりの庭園を眺めながら「あおい茶寮」にて昼食。会員同士の交流を深めた。

④運営委員会の開催

第1回 平成26年5月13日（火）平成25年度事業実施報告及び平成26年度事業計画説明

ふれあい交流会について協議

第2回 平成26年10月6日(月)研修会の日程及び内容について協議

(2) 在宅福祉サービス事業等の受託運営

和歌山市等から受託し、次の事業を実施した。

①生活管理指導員派遣事業

介護保険給付対象外で、社会適応が困難な高齢者に対し、日常生活の支援・指導を行う業務の実施

延べ利用者数	53人	(月平均 5人)
延べ訪問回数	221回	(月平均 18回)
延べサービス提供時間数	221時間	(月平均 18時間)

②要介護認定訪問調査事業の実施

和歌山市から通知を受けた調査対象者を訪問し、要介護認定調査業務の実施

延べ調査件数	72件	(月平均 6件)
--------	-----	----------

③介護予防給付ケアマネジメント事業の実施

予防給付の対象者(要支援1・2)に、介護予防ケアプラン作成業務の実施

延べプラン数	195件	(月平均 16件)
--------	------	-----------

④緊急通報システム運営事業の実施

市内在住で65歳以上のひとり暮らしの高齢者(所得税が非課税)、ひとり暮らしの身体障害者手帳1・2級の所持者又は重度全身性障がい者が、家の中で助けが必要な時(急病・発作・事故等)、緊急かつ適正に救助し、自宅で安心した生活が確保できるよう福祉の増進を図ることを目的に緊急通報システム運営事業を実施した。

さらに60歳以上の方又は身体に障がいがある方などがいる世帯にも対象を広げています。(有料で設置)

取扱件数

	ひとり暮らし 高 齢 者	ひとり暮らし 障がい者(1・2級)	ひとり暮らし重度 (全身性)障がい者	有料世帯
設置に伴う調査件数	152	2	0	24
前年度からの継続件数	985	31	0	67
今年度新規設置件数	128	2	0	19
撤去件数	154	8	0	16

次年度へ繰越件数	959	25	0	70
実報件数	172	6	0	5
誤報件数	886	39	0	29

(3) 介護保険事業の実施

介護保険法に基づく次の事業を実施した。

①居宅介護支援事業の実施（居宅介護支援事業所における事業）

- ・介護保険にかかる相談業務の実施
- ・ケアプランの作成及び給付管理業務の実施

延べケアプラン数 1,048件（月平均 87件）

②訪問介護事業の実施（訪問介護事業所における事業）

- ・ケアプランに沿って訪問介護計画を作成し、身体介護・生活援助等自立援助業務の実施

延べ利用者数 625人（月平均 52人）

延べ訪問回数 12,514回（月平均 1,042回）

延べサービス提供時間数 13,498時間（月平均 1,125時間）

③介護予防訪問介護事業の実施（訪問介護事業所における事業）

- ・予防ケアプランに沿って介護予防訪問介護計画を作成し、生活援助等自立援助業務の実施

延べ利用者数 326人（月平均 27人）

延べ訪問回数 2,548回（月平均 212回）

延べサービス提供時間数 2,548時間（月平均 212時間）

(4) 障害福祉サービス事業の実施

居宅介護事業（ホームヘルプ）の実施（居宅介護事業所における事業）

- ・障害福祉サービス利用者への身体介護・家事援助等自立援助業務の実施

延べ利用者数 523人（月平均 44人）

延べ訪問回数 4,471回（月平均 368回）

延べサービス提供時間数 7,338時間（月平均 612時間）

(5) 地域生活支援事業の実施

移動支援事業の実施（移動支援事業所における事業）

・移動支援事業利用者への外出介助業務の実施

延べ利用者数	13人	(月平均	1人)
延べ訪問回数	28回	(月平均	2回)
延べサービス提供時間数	82時間	(月平均	7時間)

9. 福祉活動総合推進事業の実施

(1) わかやまし社協まつりの開催

市民の方々に地域福祉の理解と関心を深めていただくことを目的に、平成27年3月8日(日)多くの関係機関の協力のもと、「第8回わかやまし社協まつり」をあいあいセンターにおいて、約2,100人の参加を得て盛大に開催した。

事業紹介コーナー

- ・社会福祉協議会の活動をパネル展示等により詳しく紹介

福祉にふれるコーナー

- ・献血コーナー、バリアフリー教室、高齢者疑似体験

あそぶ、楽しむ、体験するコーナー

- ・こどもフロア(ミニビンゴ大会、ストラックアウト、輪投げ等)
- ・手作り体験(コースター、キャラクターの折り紙、ストラップ)
- ・餅つき体験・ネイルアート・交通安全チェック・健康チェック・AED体験

展示コーナー

- ・介護機器展示
- ・施設授産品の展示即売
- ・障がい者アート展

ふれあいステージ

- ・伏虎中学による吹奏楽、虎伏学園による和太鼓演奏、和歌山児童合唱団による合唱、コーラス(ピュアハート&横山恭治)、こども落語、腹話術など

屋台通り

- ・新鮮やさい即売・模擬店

(2) チャイルドシート等貸出事業の実施

チャイルドシートの貸出事業を通じて、安全性とその効果を保護者に認識していただくとともに着用を促進し、乳児等の死傷

事故の防止を図ることを目的に実施し、延べ18件の貸し出しを行った。

(3) おもちゃ図書館事業の実施

発達障がいや身体の障がいなどにより、在宅や地域などで同年齢の子どもたちと遊ぶ機会が少ない子どもに、おもちゃなどを通して社会性の発展及び情緒性の成長を促すことを目的に和歌山市ふれ愛センターで実施した。

- ・実施回数 12回
- ・登録者数 74人（内新規登録者数 11人）
- ・利用者数 延べ21.7人（1回当たり 1.8人）
- ・おもちゃ保有数 117点
- ・貸出状況 総貸出数 52点（1回当たり 4点）

10. 指定管理者制度に伴う福祉施設の管理及び運営

(1) あいあいセンター福祉交流館の管理

①福祉交流館の管理

福祉交流館の指定管理を市から受託し、利用者へのサービスに努めた。

福祉交流館の利用状況

区 分		福祉団体（無料）	一般団体（有料）	計
会議室	回	1,804	762	2,566
和 室	回	656	37	693
工作室	回	292	17	309
料理室	回	13	5	18
合 計	回	2,765	821	3,586
使用料収入	円	0	2,538,630	2,538,630

※ 使用料は和歌山市へ納入

②市民大学運営事業の実施

余暇を活用して学習するとともに、健康な生活と友情を構築し、かつ社会参加を目指すことを目的として市民大学運営事業を実施した。

- ・各教室の状況

教室名	授業回数 回	受講者数 (全年齢合計) 人	教室名	授業回数 回	受講者数 (全年齢合計) 人
囲碁	17	138	手編み手芸	15	28
将棋	17	69	社交ダンス	15	89
園芸	16	73	初級俳句	15	59
盆栽	15	18	初級ペン習字	16	25
民踊	15	57	初級パソコン	16	80
コーラス	15	68	水墨画	16	20
フラワー	15	30	初級登山	16	10
陶芸	15	65	大正琴	16	26
日本画	15	48	初級詩吟	16	26
初級書道(漢字)	15	87	押し花	16	20
初級書道(かな)	16	24	マジック	16	19
ストレッチ爽体操	16	30	水彩画	16	21
ヨガ	16	30	手話	16	19
合 計					1,179人

- ・入学式 平成26年5月9日(金) 市民会館小ホール 入学生 618人
- ・卒業式 平成27年3月13日(金) 市民会館小ホール 卒業生 656人
- ・発表会及び作品展

発表会

平成27年3月13日(金) 市民会館小ホール・市民ホール
(コーラス、大正琴、民踊、初級詩吟、マジック、社交ダンス)

作品展

平成27年3月12日(木)～14日(土) 市民会館展示室
(初級俳句、初級書道(漢字・かな)、水墨画、日本画、陶芸、手編み手芸、フラワー、ペン習字、押し花
水彩画)

(2) ふれ愛センターの管理運営

①ふれ愛センターの管理

ふれ愛センターの指定管理を市から受託し、利用者へのサービスに努めた。

ふれ愛センター利用状況

区 分		福祉団体(無料)	一般団体(有料)	合 計
会議室	回	3,791	219	4,010
研修室	回	546	15	561
教養文化室	回	790	18	808
合 計	回	5,127	252	5,379
使用料収入	円	0	520,380	520,380

※使用料は和歌山市へ納入

②ふれ愛事業の実施

・センター事業

心身障がい者・児、高齢者、地域住民が一体となり事業に参加することにより、心身の鍛錬をすると共に、心身障がい者や高齢者に対する地域住民の理解と認識を深め、福祉の向上を図ることを目的とした各種活動を実施した。

事業実施状況

- ・ふれ愛野外活動 平成26年11月24日(月)淡路島「奇跡の星の植物館・たこせんべいの里」
参加者 117人(うち障がい者67人)
- ・ふれ愛カラオケ大会 平成27年2月8日(日)4階大会議室
参加者 障がい者の部14人 高齢者の部14人 一般の部10人
- ・ふれ愛作品展 平成27年3月5日(木)～8日(日)4階大会議室
出展数177点
絵画24点、書道34点、作業療法8点、陶芸46点、アートワーク10点、
華道7点、点字14点、着物着付け6点、編物28点
来場者 283人

・障害者いきいき事業の実施

身体障がい者の方々を対象に、創作的活動、社会適応訓練、レクリエーション、機能回復訓練を行うことにより、その自立を図るとともに、生きがいを高めることを目的に事業を実施した。(P. 26参照)

③ボランティア講座事業の実施

一般市民を対象にボランティア講座を開設し、講座を通してボランティアを養成するとともに、その技術を日常生活又は、社会生活の場において活用することにより、社会福祉の増進を図ることを目的に実施した。

講座実施状況

講座名	実施回数	受講者数	修了者数
手話初級	20回	38人	25人
手話中級	20回	30人	26人
点字	20回	14人	11人
朗読	20回	18人	16人
合計	80回	100人	78人

平成26年度 社会福祉協議会「一般会員」加入状況

地 区 名	加入金額 (円)	口 数	地 区 名	加入金額 (円)	口 数
本 町	100,000	500	松 江	374,600	1,873
城 北	253,000	1,265	木 本	385,400	1,927
広 瀬	114,000	570	貴 志	27,000	135
雄 湊	203,800	1,019	楠 見	30,000	150
大 新	39,400	197	西 和 佐	72,000	360
新 南	461,400	2,307	岡 崎	159,900	799
吹 上	494,700	2,473	西 脇	114,600	573
砂 山	30,000	150	安 原	3,000	15
高 松	141,900	709	和 佐	10,600	53
雑 賀	60,000	300	東 山 東	39,400	197
宮	1,052,831	5,264	西 山 東	25,600	128
宮 北	30,800	154	有 功	650,000	3,250
四 箇 郷	300,000	1,500	直 川	30,000	150
中 之 島	425,050	2,125	川 永	40,000	200
芦 原	13,000	65	小 倉	301,200	1,506
雑 賀 崎	20,000	100	加 太	150,000	750
和 歌 浦	16,000	80	紀 伊	63,000	315
宮 前	54,800	274	山 口	128,800	644
湊	20,000	100	今 福	291,600	1,458
野 崎	295,200	1,476	田 野	20,000	100
三 田	360,000	1,800			
名 草	20,000	100	合 計	7,422,581円	37,111口

平成26年度 和歌山市心配ごと相談所運営状況

平成26年4月1日～平成27年3月31日

相談所名	和歌山市心配ごと相談所										開設場所	和歌山市八番丁館 1階									
所在地	和歌山市八番丁4番地 TEL 431-6658											心配ごと相談室									
相談員	民生委員 52名					専門相談員 6名															
開設日数	140日		開設日時		毎週 月・水・金曜日 13:00～16:00								来所相談 17件			電話相談 124件			合計 141件		
	相談利用者数 141名 男 41名 女 104名										面接所要時間 68.13時間										
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	生計	年金	職業	住宅	家族	結婚	離婚	健康	医療	精神	人権	財産	事故	児童福祉	教育・青少年	心身障害者	母子福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
取扱件数	12	0	4	7	52	1	2	3	5	17	1	6	1	0	1	0	0	4	6	19	141

平成26年度 ふれあい食事サービス実施状況

地区名		月												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	三田		○	○		○		○	○	○		○		7
2	四箇郷	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	11
3	有功	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
4	宮	○	○				○○		○		○	○		7
5	小倉		○						○	○			○	4
6	新南	○	○					○	○	○			○	6
7	今福				○			○						2
8	城北			○				○	○					3
9	中之島	○		○		○		○		○		○		6
10	吹上			○○									○	3
11	紀伊	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	10
12	東山東		○						○				○	3
13	加太			○					○					2
14	広瀬			○										1
15	芦原							○						1
16	西脇							○					○	2
17	野崎								○	○		○		3
18	高松								○					1
19	木本							○○				○		3
20	大新						○							1
21	山口	○			○			○		○		○		5
22	松江		○						○					2
23	砂山											○		1
24	田野								○					1
25	川永	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11
26	本町							○					○	2
27	宮北								○				○	2
28	湊		○						○					2
29	雄湊		○						○			○		3
	合計	8	12	11	5	4	7	16	17	9	5	12	11	117

平成26年度 生活福祉資金資金別貸付状況

資金名	費目	相談件数	申込件数	申込元金額(円)	貸付件数	貸付元金額(円)
総合支援資金	生活支援費	123	5	1,041,000	5	1,041,000
	住宅入居費	27	2	260,940	2	260,940
	一時生活再建費	43	3	767,760	3	767,760
福祉資金	福祉費	16	2	154,500	2	154,500
	緊急小口資金	11	0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費	19	6	11,488,000	6	11,488,000
	就学支度費	17	3	2,500,000	3	2,500,000
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	11	0	0	0	0
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	0	0	0	0
合計		268	21	16,212,200	21	16,212,200

平成26年度 償還実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	14	18	13	18	14	10	20	10	8	14	12	23	174
訪問件数	33	39	58	54	53	64	63	48	43	62	59	10	586
総合支援資金	246,645	303,360	254,230	223,740	222,000	248,630	307,688	227,208	287,882	365,950	264,461	263,990	3,215,784
福祉資金	549,286	254,537	293,661	244,250	293,581	167,240	185,290	199,910	191,440	169,977	154,340	133,042	2,836,554
教育支援資金	152,990	146,420	290,080	189,970	155,479	176,440	606,520	156,340	192,093	175,890	191,120	258,928	2,692,270
離職者支援資金	169,560	186,800	84,044	195,300	115,000	444,424	157,200	76,100	164,700	127,200	103,600	104,200	1,928,128
償還合計金額	1,118,481	891,117	922,015	853,260	786,060	1,036,734	1,256,698	659,558	836,115	839,017	713,521	760,160	10,672,736

平成26年度 障害者いきいき事業実施状況

区 分	教室名	開催回数	受講者数	延べ受講者数
創作的活動	書 道	15回	30人	298人
	華 道	15回	6人	64人
	アートフラワー	15回	4人	41人
	絵 画	15回	15人	159人
	茶 道	15回	10人	107人
	陶 芸	15回	15人	171人
	編 物	15回	13人	123人
合 計			93人	963人

区 分	教室名	開催回数	受講者数	延べ受講者数	
社会適応訓練	料 理	15回	14人	147人	
	肢体障害者パソコン	車椅子者の部	15回	10人	135人
		杖輪者の部	15回	15人	189人
	視覚障害者パソコン	15回	15人	175人	
	聴覚障害者パソコン	15回	10人	128人	
	点 字	15回	4人	33人	
	手 話	15回	15人	192人	
	合 計			83人	999人

区 分	療法名	開催回数	利用者数	延べ利用者数
機能回復訓練	理学療法	33回	15人	421人
	作業療法	33回	15人	409人
	言語療法	11回	5人	53人
合 計			35人	883人

区 分	教室名	開催回数	受講者数	延べ受講者数
レクリエーション	囲 碁	15回	9人	85人
	将 棋	15回	8人	93人
	カラオケ	15回	28人	291人
	現代マナー	10回	8人	53人
	体 操	15回	30人	348人
	着物着付け	15回	11人	112人
合 計			94人	982人

平成26年度

法人全体 決算書

収入総額	464,552,605 円	
	(うち前期末支払資金残高	14,632,011 円)
支出総額	446,169,663 円	
当期末支払資金残高	18,382,942 円	(資金収支計算書)
次期繰越活動増減差額	20,741,793 円	(事業活動計算書)

社会福祉法人 和歌山市社会福祉協議会

資金収支計算書

(自)平成26年04月01日
(至)平成27年03月31日

(単位:円)

勘定科目	当初予算	補正予算	予算流(充)用	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入							
	会費収入	8,463,000	0	0	8,463,000	8,243,581	219,419	
	寄附金収入	1,600,000	1,400,000	0	3,000,000	3,110,808	△110,808	
	経常経費補助金収入	111,506,000	141,000	0	111,647,000	110,808,994	838,006	
	受託金収入	205,303,000	△2,526,000	0	202,777,000	198,591,196	4,185,804	
	事業収入	853,000	0	0	853,000	879,702	△26,702	
	負担金収入	2,546,000	0	0	2,546,000	2,019,000	527,000	
	介護保険事業収入	64,924,000	△2,087,000	0	62,837,000	63,821,060	△984,060	
	障害福祉サービス等事業収入	16,911,000	△547,000	0	16,364,000	17,495,558	△1,131,558	
	受取利息配当金収入	1,222,000	0	0	1,222,000	1,222,337	△337	
	その他の収入	5,000	0	0	5,000	61,804	△56,804	
	事業活動収入計(1)	413,333,000	△3,619,000	0	409,714,000	406,254,040	3,459,960	
	支出							
	人件費支出	268,131,000	△2,890,000	22,263	265,263,263	257,469,383	7,793,880	
事業費支出	45,258,000	△664,000	△22,263	44,571,737	41,600,480	2,971,257		
事務費支出	73,785,000	△577,000	0	73,208,000	69,122,097	4,085,903		
助成金支出	13,041,000	△40,000	0	13,001,000	12,702,295	298,705		
負担金支出	12,748,000	0	0	12,748,000	12,206,697	541,303		
事業活動支出計(2)	412,963,000	△4,171,000	0	408,782,000	393,100,952	15,691,048		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	370,000	552,000	0	922,000	13,153,088	△12,231,088		
施設整備等による収支	収入							
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	
	支出							
	固定資産取得支出	0	1,194,000	0	1,194,000	1,192,320	1,680	
施設整備等支出計(5)	0	1,194,000	0	1,194,000	1,192,320	1,680		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	△1,194,000	0	△1,194,000	△1,192,320	△1,680		
その他の活動による収支	収入							
	積立資産取崩収入	23,192,000	△3,204,000	0	19,988,000	19,954,000	34,000	
	拠点区分間繰入金収入	14,455,000	2,711,000	0	17,166,000	17,104,460	61,540	
	サービス区分間繰入金収入	6,817,000	△123,000	0	6,694,000	6,608,094	85,906	
	その他の活動収入計(7)	44,464,000	△618,000	0	43,846,000	43,666,554	181,446	
	積立資産支出	24,640,000	1,664,000	0	26,304,000	21,466,337	4,837,663	
	拠点区分間繰入金支出	14,455,000	2,711,000	0	17,166,000	17,104,460	61,540	
	サービス区分間繰入金支出	6,817,000	△123,000	0	6,694,000	6,608,094	85,906	
	その他の活動による支出	6,842,000	0	0	6,842,000	6,697,500	144,500	
	その他の活動支出計(8)	52,754,000	4,252,000	0	57,006,000	51,876,391	5,129,609	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△8,290,000	△4,868,000	0	△13,158,000	△8,209,837	△4,948,163		
予備費支出(10)	0	0	0	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△7,920,000	△5,510,000	0	△13,430,000	3,750,931	△17,180,931		
前期末支払資金残高(12)	7,920,000	5,510,000	0	13,430,000	14,632,011	△1,202,011		

資金収支計算書

(自)平成26年04月01日
(至)平成27年03月31日

(単位:円)

勘定科目	当初予算	補正予算	予算流(充)用	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	18,382,942	△18,382,942	
[収入計]	465,717,000	1,275,000	0	466,992,000	464,552,605	2,439,395	
[支出計]	465,717,000	1,275,000	0	466,992,000	446,169,663	20,822,337	

事業活動計算書

(自)平成26年04月01日

(至)平成27年03月31日

第2号の1様式

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益				
	会費収益	8,243,581			
	寄附金収益	3,110,808			
	経常経費補助金収益	110,808,994			
	受託金収益	198,591,196			
	事業収益	879,702			
	負担金収益	2,019,000			
	介護保険事業収益	63,821,060			
	障害福祉サービス等事業収益	17,495,558			
	その他の収益	61,804			
	サービス活動収益計(1)	405,031,703			
	費用				
	人件費	264,168,883			
	事業費	41,600,480			
事務費	69,122,097				
助成金費用	12,702,295				
負担金費用	12,206,697				
減価償却費	892,757				
サービス活動費用計(2)	400,691,209				
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,340,494				
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	1,222,337			
	サービス活動外収益計(4)	1,222,337			
	費用				
サービス活動外費用計(5)	0				
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,222,337				
経常増減差額(7)=(3)+(6)	5,562,831				
特別増減の部	収益				
	拠点区分間繰入金収益	17,104,460			
	サービス区分間繰入金収益	6,608,094			
	特別収益計(8)	23,712,554			
	費用				
	拠点区分間繰入金費用	17,104,460			
	サービス区分間繰入金費用	6,608,094			
	固定資産売却損・処分損	34,528			
	その他の特別損失	△7,764,740			
	特別費用計(9)	15,982,342			
特別増減差額(10)=(8)-(9)	7,730,212				
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	13,293,043				

事業活動計算書

第2号の1様式

(自)平成26年04月01日 (至)平成27年03月31日

(単位: 円)

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	8,961,087			
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	22,254,130			
	基本金取崩額(14)	0			
	基金取崩額(15)	0			
	その他の積立金取崩額(16)	19,954,000			
	その他の積立金取崩額	19,954,000			
	その他の積立金積立額(17)	21,466,337			
	その他の積立金積立額	21,466,337			
	次期繰越活動増減差額 (18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	20,741,793			
	【 収入計 】	458,881,681			
	【 支出計 】	438,139,888			

貸借対照表

平成27年03月31日現在

第3号の1様式

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	54,583,822			流動負債	36,200,880		
現金預金	39,434,562			事業未払金	28,991,728		
事業未収金	15,103,793			未返還金	6,420,552		
立替金	0			預り金	788,600		
前払金	45,467			拠点区分間借入金	0		
拠点区分間貸付金	0			仮受金	0		
仮払金	0			固定負債	80,771,460		
固定資産	419,221,724			退職給付引当金	80,771,460		
基本財産	3,000,000			負債の部合計	116,972,340		
定期預金	3,000,000			純資産の部			
その他の固定資産	416,221,724			基本金	3,000,000		
構築物	55,941			基本金	3,000,000		
車両運搬具	1,500,390			基金	118,000,000		
器具及び備品	346,820			福祉票生基金	18,000,000		
ソフトウェア	455,700			ボランティア基金	100,000,000		
投資有価証券	180,000,000			その他の積立金	215,091,413		
退職手当積立基金預け金	75,259,560			法人運営積立金	19,061,287		
退職給付引当資産	5,511,900			訪問介護事業運営積立金	122,581,000		
ボランティア基金積立資産	15,000,000			退職積立金	9,853,492		
退職積立資産	9,853,492			善意銀行運営積立金	26,188,634		
善意銀行運営積立資産	6,188,634			居宅介護支援事業運営積立金	29,847,000		
訪問介護事業運営積立資産	72,581,000			ふれあいサービス事業運営積立金	268,000		
法人運営積立資産	12,061,287			福祉サービス利用援助事業運営積立金	7,292,000		
居宅介護支援事業運営積立資産	29,847,000						
ふれあいサービス事業運営積立資産	268,000			次期繰越活動増減差額	20,741,793		
福祉サービス利用援助事業積立資産	7,292,000			(うち当期活動増減差額)	13,293,043		
資産の部合計	473,805,546			純資産の部合計	356,833,206		
				負債及び純資産の部合計	473,805,546		

脚注

1. 減価償却費の累計額 37,729,025
2. 徴収不能引当金の額
3. 移行時特別積立預金の積立不足額